

その他部門

冷熱



有原 正彦
冷熱事業本部長



業務用CO₂ヒートポンプ給湯機「キュートン」

基本戦略

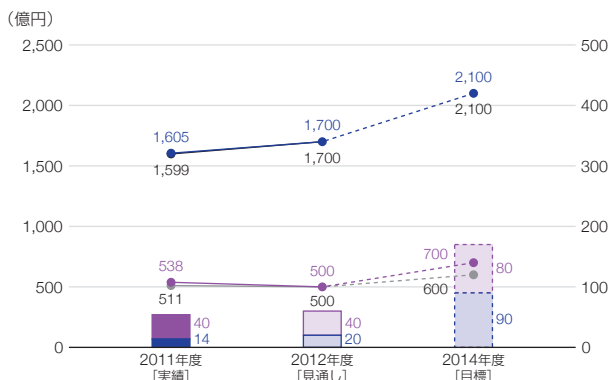
冷熱

- 「軽量／軽快」な事業体質の実現
- 「ニッチ断トツ」のビジネス展開

工作機械

- 収益の柱となる事業の更なる強化
- 新成長事業の拡大
- 加工技術力の強化

2014年度 目標



冷熱

● 受注高 (左軸) ● 売上高 (左軸) ■ 営業利益 (右軸)

工作機械

● 受注高 (左軸) ● 売上高 (左軸) ■ 営業利益 (右軸)

冷熱

2012年3月期の概況

冷熱関係では、カーエアコンが東日本大震災の影響や円高等による国内自動車生産の低迷に伴い受注が減少しましたが、欧州向けルームエアコンやパッケージエアコン等が増加しました。以上の結果、連結受注高は1,605億円、連結売上高は1,599億円、営業利益は5億円となり、いずれも前年度を上回りました。

今後の取り組み

「2012事業計画」の達成に向け、空調事業、カーエアコン事業の海外展開を加速し、事業規模拡大を図ります。空調事業は、中国、アジアでの販売を拡大すると共にパッケージエアコンの海外生産移管を2012年度に完了する予定です。カーエアコン事業は、2011年度に新工場をタイに建設し、生産準備を進めているほか、米国拠点での本格

冷熱事業本部、工作機械事業本部と事業ドメインとの関係

事業ドメイン	顧客・市場	セグメント					その他(冷熱・工機)
		船舶・海洋	原動機	機械・鉄構	航空・宇宙	汎用機・特車	
エネルギー・環境	<ul style="list-style-type: none"> 電力会社 ガス会社 資源企業 (石化・鉄鋼 他) 		<ul style="list-style-type: none"> GTCC 大型火力発電 原子力 	<ul style="list-style-type: none"> 環境プラント 化学プラント 			
機械・設備システム	<ul style="list-style-type: none"> 基礎産業(鉄鋼 他) 自動車 流通 他 		<ul style="list-style-type: none"> 定置用エンジン 	<ul style="list-style-type: none"> コンプレッサ 製鉄機械 搬送システム 		<ul style="list-style-type: none"> ターボチャージャ フォークリフト エンジン 	<ul style="list-style-type: none"> 空調機器 工作機械
交通・輸送	<ul style="list-style-type: none"> エアライン(空) 海運業(海) 鉄道(陸) 他 	<ul style="list-style-type: none"> 商船 		<ul style="list-style-type: none"> 交通システム 	<ul style="list-style-type: none"> 民間航空機 		
防衛・宇宙	<ul style="list-style-type: none"> 防衛省(陸・海・空) JAXA 	<ul style="list-style-type: none"> 艦艇 			<ul style="list-style-type: none"> 防衛航空機 ミサイル 宇宙機器 	<ul style="list-style-type: none"> 特殊車両 	

工作機械



樹神 幸夫
工作機械事業本部長



歯車研削盤

量産を再開しています。2013年にはカーエアコンの事業会社を設立する予定です。また、ヒートポンプ給湯事業は、断トツ性能の商品をラインナップしており、国内だけでなく、海外においても販売拡大を図ります。

工作機械

2012年3月期の概況

工作機械関係では、工作機械が海外向け設備投資の活発な国内の自動車メーカーや建設機械メーカー向けに加え、海外でも中国・東南アジアを中心に伸長しました。以上の結果、連結受注高は538億円、連結売上高は511億円となり、それぞれ前年度を上回りました。営業利益は、工作機械の売上増加により、前年度を上回る36億円となりました。

今後の取り組み

市場特性の異なる工作機械と精機品を両輪に市況変動に強い事業体制を構築するため、収益の柱となる事業の強化を図ります。歯車機械は、インドに生産工場を設立し、販売・サービス機能を持たせます。また、中国の常熟工場を中核拠点として生産能力を拡大し、中国事業の拡大を図ります。精密工具事業は、インドのMHI-IPT社を主力拠点化し、生産能力増強と納期短縮を図ります。また、米国のFederal Broach社を買収し、新たな顧客層の獲得によりトップ3を目指します。新成長事業の拡大による収益力強化を図るため、傘中空エンジンバルブの本格事業化にも取り組めます。事業規模1,000億円、歯車機械・大形機の世界シェアNo.1の実現を目指し、「2012事業計画」戦略をスピーディーかつ着実に実行していきます。